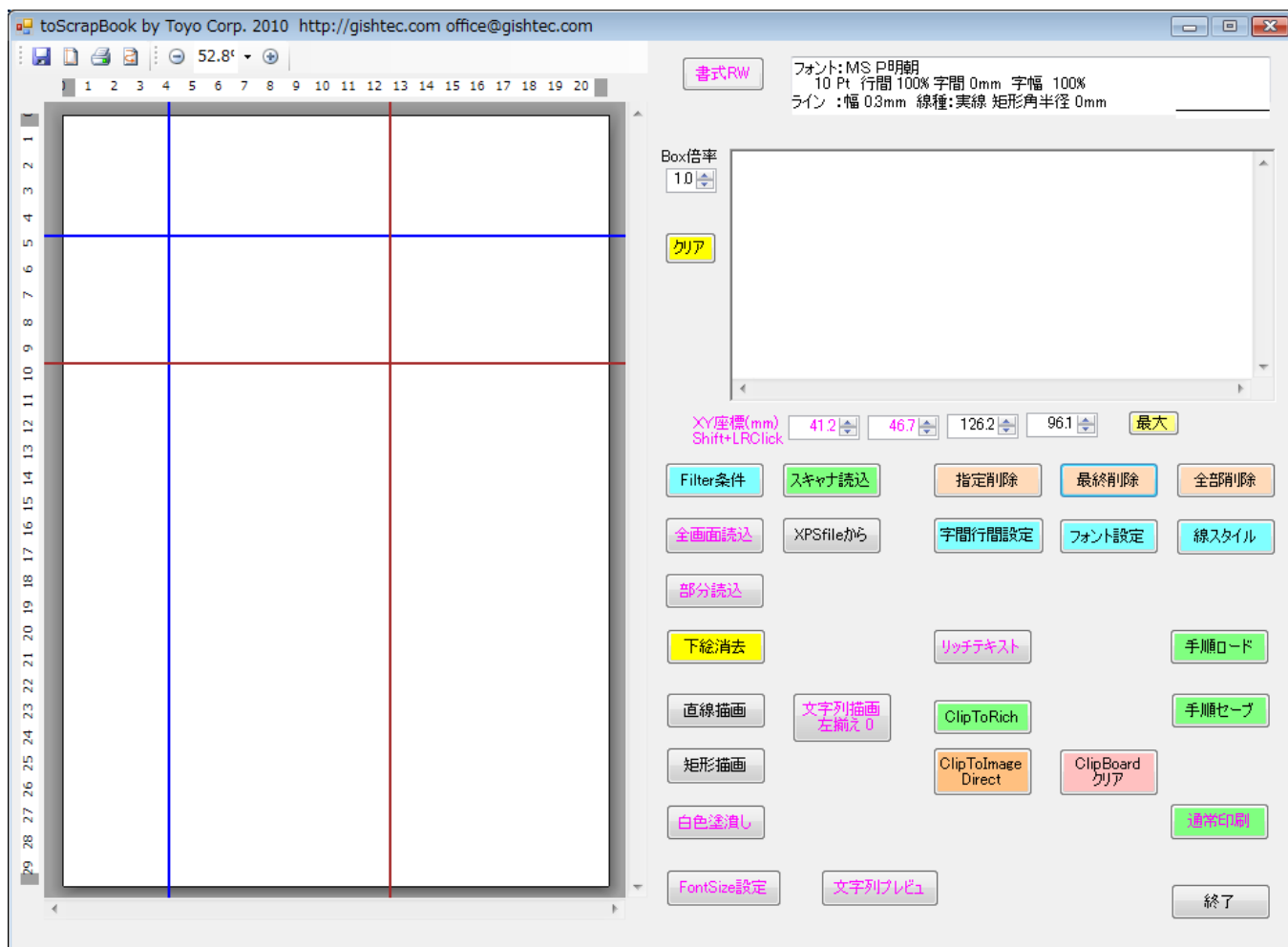


toScrapBook 操作マニュアル

機能

1. 画面上の選択部分を取り込み、紙で印刷するためソフトの画面上に表示する。
2. 取り込む目的物は、画面上の任意の範囲、スキャナで取り込んだ画像、画像ファイル、Microsoft XPS 仮想プリンタードライバーと通じて得た XPS ファイルからなど、多数のファイル。
3. 取り込んだ画像等をソフトの仮想紙面上に配置し、その紙面上に直線矩形文字列等を追加編集する。

使い方



データエクスポート



用紙設定

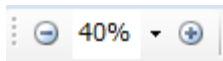


通常印刷



画面再描画

リフロー



画面拡大縮小

画面をクリック後、**Shift+Scroll** 手前 拡大
画面をクリック後、**Shift+Scroll** 向こう 縮小

左クリックしながら、マウス移動

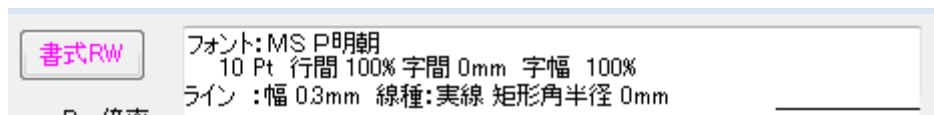
表示部分移動

Shift+左クリック

選択領域左上設定 青色のクロス

Shift+右クリック

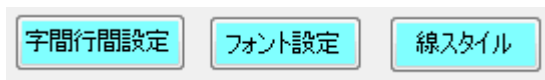
選択領域右下設定 茶色のクロス



フォント（サイズ、色 など）、行間字間字幅、ライン（太さ、線種、色など）の情報を次回呼び出せるように登録および呼び出しします。

Shift+左クリックで登録、 単に左クリックで呼び出しです。

データ作成は、下部の



をクリックするとそれぞれ設定画面が出ます。

なお、マクロ用の設定が別途設定できます。（後で述べます）

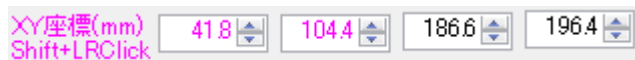


下のテキスト（リッチテキスト）変種画面の表示倍率を設定します。

表示割合は左側のデータ編集画面と同じですので、同じ倍率にするとリッチテキストの編集が簡単に行えます。



右側のテキストボックスを消去します。



設定区域の座標です。

編集画面の設定画面を **Shift+左クリック**/右クリックで左上（青色）右下（茶色）の座標を変更した場合、数値が変化します。

また、数値を直接変更すると、編集画面の直線位置が変化します。



Shift+左クリックで矩形固定モードです。

左上の座標を変更すると右下も矩形形状を変化させずに移動させます。

表のように元と同じ横座量または縦座標を偏差させるとき便利です。

解除も **Shift+左クリック**です。



Shift+左クリックで数字の右側の矢印をクリックした時の増減値が増大します

解除も **Shift+左クリック**です。

最大

左の編集画面に設定範囲を最大にします。

Filter条件

画像を読み込む時に、データそのままではなく加工後表示するための条件を設定します。

詳しくは同梱の **Filter 条件.pdf** を参照して下さい。

使い道としては、新聞等スキャナーで呼んだ場合、バックが黄ばんでいて、文字が良く読めない時、自筆のサインを表示する時に、通常白色部で下地が消えてしまう場合で透明色として処理したい場合などです。

スキャナ読込

スキャナドライバーを起動して画像ファイルを作成します。

通常は、解像度を 300 dpi（インチ間 300 ドット）を選んで下さい。

データセーブ時は特別な場合を除いて、BMP をを選んで下さい。

jpg 形式でセーブすると線幅 1 ドットなどの線分は消える（かすれる）ことが有ります。

指定削除

最終削除

全部削除

下絵消去

手順データを削除します。 下絵データは で削除。

指定削除では、該当するデータを選択（Ctrl+Click 等）状態にしてボタンをクリックして下さい。

全画面読込

画像ファイル（jpg, pic, bmp など多数）を画面（紙面）全面に読み込みます。

通常はメモリーの使用量を少なくするために下絵として読み込んで下さい。

下絵として読み込む場合は本体の手順とは別ですので、手順データとしてはセーブされません。

Shift+左クリックで、読み込み時に Filter を通します。

部分読込

画像ファイル（jpg, pic, bmp など多数）を画面（紙面）の指定部分に読み込みます。

Shift+左クリックで、読み込み時に Filter を通します。

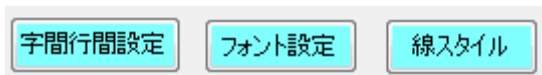
XPSfileから

Microsoft から無償配布されている、XPS 形式のファイルを読み込みます。

XPS の仮想プリンタードライバーは Vista 以降は最初からインストールされています。

PDF、Excel など、このソフトでは直接読み込めないファイルについては一旦 XPS 形式で印刷（ファイルに落とす）してから、読み込んで下さい。

XPS 形式では通常印刷出力されるプログラムではすべて XPS ファイルに変換されるので便利です。

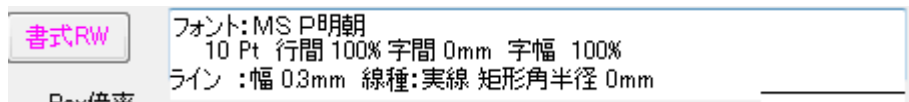


設定画面を出します。

フォント設定については、均等フォントに気を付けて下さい。

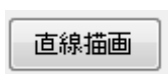
縦書きのケースでプロポーションアルフォントを選ぶと不都合が起こることがあります。

設定結果は

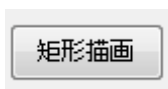


に表示されます。

右下の黒い線分は直線の幅、線種（直線、点線など）線色で変わります。



編集画面の矩形設定部分を「線スタイル」で定義された線で左上から右下まで線を引きます。



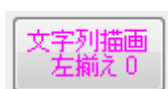
長方形を描きます。「線スタイル」で定義された線で長方形を描きますが、矩形角半径に値が設定されていると、角が設定値に従って丸くなります。



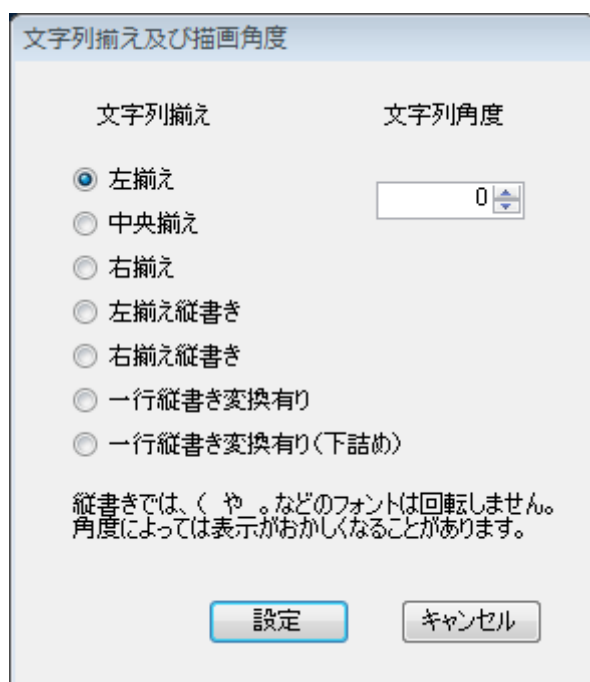
白色で塗りつぶされた長方形を描画します。

使用目的は、下絵の余計な部分の消去です。

なお、Shift+左クリックでは、線スタイルの線色で塗りつぶされた長方形です。



文字列描画用コマンドです。



Shift+左クリックで次の描画条件設定画面が出ます。

左揃え、中央揃え、右揃えは他のソフトと同じです。

左揃え縦書きは、編集画面の領域設定された箇所に、左側から縦書きでリッチテキスト画面の複数文字列を、設定フォント情報を元に書き込みます。

左揃えは、左側からの書き込みです。

一行縦書き変換有りは、通常の横書き用のフォントを使用すれば問題が起こる様なケースで

（例えば、句点は横書きでは左下だが、縦書きでは右上に○（。）フォントを90度回転させて表示されます。（ただし、表示できるのはリッチテキストの一行目だけです）

この場合、描画は回転させたい部分を始めに書き込み、次に回転させる部分を次に書き込んでいます。（縦一行に対してデータが2回出力されます。）

一行縦書き変換有り（下詰め）では、設定領域の下側に文字列が詰まるように書き込みます。（横書きの右揃えと同じ）

文字列によっては、回転させても、思った通りに表示されないことがあります。この場合は外字フォントを使用してください。

なお、変換すべき文字列の設定は、実行ファイルがあるフォルダーの INI ファイルにあります。

FontSize設定

左のデータ編集画面（青のクロス&茶色のクロス）を使って最適なフォントのサイズを設定します。そのままクリックすれば、青クロス赤クロスの水平部分の間隔に応じてフォントサイズを設定します。また、**Shift+左クリック**では反対に青のクロスを基準として、予め設定されたフォントサイズに応じて茶色クロスの水平部分の位置を調整します。

文字列プレビュー

クリックすれば編集画面で現在入力しようとしている文字列をプレビューします。

ただし、均等文字列、縦書きの一行変換付きの文字列はプレビュー出来ません。一旦データを実際に書き込んだ後、駄目であれば、削除してください。**Shift+左クリック**でプレビューが消えます。

データ削除コマンドでは、均等文字列および一行縦書き変換有りは一度では削除できません。これは、データが複数存在しているためです。均等文字列では文字数、一行縦書き変換有りでは2つ消去しなければなりません。

リッチテキスト

リッチテキスト描画します。

ClipToRich

他のソフトで複製されたデータをリッチテキストボックスに転送します。転送されたデータ形式はWindowsのクリップボードの規定に従います。ペイントソフトで複製されたデータは画像データとして、PDFでは文字データのみ、Excelでは文字データと同時に表の体裁も同時に表示されます。Excelの表示をそのままの姿で描画するときは、使ってください。気を付けなければならないのは、Excel側のフォント情報も同時に複製されるので描画設定画面で、範囲設定された大きさに応じて拡大縮小されません。元のデータが設定範囲内でクリップされて、余計な部分は削除されます。

ClipToImage Direct

もし、拡大縮小するなら、次のClipToImage Directを選んでください。

ClipToImage
Direct

希望する画面の領域を左クリックしながら 範囲を選択し、マウスアップすれば、勝手に編集画面の設定区域にコピーされます。

手順ロード

手順セーブ

編集画面で行った、直線描画とか文字列描画とかの手順をファイルに保存します。
下絵情報は保存しません。
ロードは手順を呼び出します。

通常印刷

編集画面の見えるままに印刷します。
Shift+左クリックで印刷設定画面がでます。
また、印刷終了後印刷設定をセーブするので、プログラムを終了しても次回は同じ設定で印刷します。

XPS 仮想プリンタードライバーについて

Vista 以降には、はじめからついてきます。(インストールされています。)

XP では、次のサイトからインストールして下さい。

<http://www.microsoft.com/japan/whdc/xps/viewxps.msp>

あと、Microsoft Visual 2005 C++ Redistributable RunTime が必要です。(Filter 機能で使用)

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=32BC1BEE-A3F9-4C13-9C99-220B62A191EE&displaylang=ja>

.Net Framework 2.0 以降が必要ですが、これは XP 以降ならインストール済みだと思います。

1, 000円を追加願えれば、ソフト本体と上記ライブラリが入った CD をお送り致します。

toScrapBook

このソフトを利用するには、下記に連絡し、パスワードを入手してください。

代金は ￥2,500 です。

アカデミックは半額です。

(会社等での複数セットの使用時にご相談ください。)

振込先： セブン銀行 カトレア支店 普通口座 0606736 オカモリ マサシ

岡森 正司

Toyo Corporation, Osaka

e-mail: office@gishtec.com

ソフトのインストール方法

Setup.exe をダブルクリックして、実行して下さい。

アンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」より「ToScrapBook」を選択して削除を実行して下さい。